

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2012-65652(P2012-65652A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-214253(P2011-214253)

【国際特許分類】

C 12 N 5/10 (2006.01)

C 12 N 5/0784 (2010.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 N 5/00 102

C 12 N 5/00 202M

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月24日(2012.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

成熟樹状細胞の製造方法であって、

(1) CD11c⁺未成熟樹状細胞にゲノム複製能を持つセンダイウイルスベクターを接触させる工程、または

(2) CD34⁺細胞にゲノム複製能を持つセンダイウイルスベクターを接触させ、該細胞をCD11c⁺未成熟樹状細胞に分化させる工程、を含み、

該センダイウイルスベクターにより該未成熟樹状細胞の成熟化が促進される方法。

【請求項2】

該センダイウイルスベクターを、多重感染度(MOI)を少なくとも1で該細胞に接触させる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該センダイウイルスが下記(1)から(4)からなる群より選択される、請求項1または2に記載の方法。

(1) 実施例Aの実験2に記載のSeV-GFP、

(2) (1)からGFP遺伝子を除去したウイルス、

(3) (2)に所望の外来遺伝子を導入したウイルス、

(4) (1)～(3)においてセンダイウイルス遺伝子を欠失および/または変異させたウイルス。

【請求項4】

請求項1から3のいずれかに記載の方法により製造された、該ベクターを保持し該ベクターが発現する成熟樹状細胞。

【請求項5】

請求項2に記載の方法により製造された細胞である、請求項4に記載の細胞。

【請求項6】

請求項 3 に記載の方法により製造された細胞である、請求項 4 に記載の細胞。

【請求項 7】

請求項 4 から 6 のいずれかに記載の樹状細胞を含む、腫瘍増殖抑制剤。